

平成22年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市宮崎地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行なったのか、事業計画書を基に具体的に記載してください。

(1) 施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ① 指定管理者として、公の施設を公正・公平に管理しました。
- ② 常に快適な施設を目指し、地域住民の方が安全に安心して地域ケアプラザの利用ができるように、設備等の保守点検を専門業者をお願いし、定期的に行いました。
- ③ 月1回の委託業者による定期清掃の他、職員も日常清掃・整理整頓に心がけ、備品管理、警備、そして、G30の推進を目指し積極的に分別を行いました。
- ④ 施設の周辺と3階の緑地帯の剪定や除草を年1回、専門業者に依頼し、衛生上はもちろん、外観を整備しました。
- ⑤ 施設衛生においては、感染症・食中毒予防などに力を入れ、全館の手すりやドアノブなどの10月から3月まで毎日消毒を行いました。

イ 効率的な運営への取組について

- ① 常に節水、節電や資源の有効活用に心がけ、資源の日常的な無駄を省く努力を職員一同継続しました。
- ② 日常的に使用する消耗品についても、金額を再度確認して、質を落とさぬように気を配りながら、新しい物も取り入れました。

ウ 苦情受付体制について

- ① 法人では、公正・中立の立場から、第三者委員会を設置して、適切な苦情解決に向けて整備しています。
- ② 「苦情相談対応マニュアル」に沿って、苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して苦情受付の体制を整え、その情報を職員間で共有して改善に努めました。
- ③ スタッフが利用者の相談を適切に対応できるよう、職員研修を深め、窓口（苦情相談窓口、ご意見箱、ホームページでの受付など）だけではなく、普段から意見を言いやすいように声をかけたりしました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ① 「事故防止委員会」で「事故防止マニュアル」、「事故等緊急時の対応マニュアル」について、担当者で会議を行い、適宜見直しをして、職員に周知し、共有化を図りました。
- ② 災害時特別避難場所としての役割を認識し、災害備蓄物資の消費期限等のチェックを行いながら整備し、適正な管理に努めました。
- ③ 年2回の避難誘導訓練を行い、終了後には必ず消火器の使用方法を確認しました。
- ④ 緊急連絡網を適宜更新しました。
- ⑤ AEDの設置に伴い、備品の使用期限や日頃からチェックを行い、整備しました。
- ⑥ 夜間はセキュリティシステムが稼動していて問題なく運営できました。

オ 事故防止への取組について

- ① 「事故防止委員会」で事故内容を検討し、マニュアルを再度見直し、職員に周知し、共有化を図りました。
- ② 業務中にヒヤリとしたことや、ハツとしたことがあった場合には、今後も事故につながる可能性が高いため、その日のうちにスタッフミーティングで報告・注意喚起すると共に防止策を検討して、記録を残し、事故の未然防止に取り組みました。
- ③ 職員が日常的に点検や目視を行い、事故の発生予防に心がけました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ① 年度始めに、パートを含め全職員に「個人情報保護に関する誓約書」に署名し、研修内で再徹底をしました。更に年度の半ば頃に「個人情報保護取り扱い意識確認チェックリスト」で復習して常に緊張感をもって対応するように心がけました。
- ② 個人情報に関わる書類等は、すべて書庫に施錠して保管管理しました。
- ③ 不要となった情報については、シュレッダーを使用して破棄することを徹底しました。
- ④ 事業所等への個人の報告等は郵送を基本とし、FAXでの送信の場合も合わせて2名でのダブルチェックの徹底をしました。
- ⑤ 携帯電話内の個人情報の取り扱いについて、暗証番号を入力しないと使用できないようにロックの設定を行いました。

キ 情報公開への取組について

- ① 本会のホームページや広報紙において、事業内容や決算報告等を公表しています。またホームページをリニューアルしましたので、各事業の情報を随時更新して広報しました。
- ② 神奈川県介護サービス情報公表システムや横浜市の施設情報案内に情報を提供しています。必要に応じて内容を適宜更新しました。
- ③ 各事業に関しては、2ヶ月に一度広報誌を発行し、町内会へ回覧や掲示板に、また地域の集まりの際には広報誌を配布し事業の説明を行い、地域の方に広く周知しました。

ク 環境等への配慮及び取組について

- ① 横浜市の取組みに準じて、冷暖房の温度設定、軽装での執務、不要な照明の消灯、使用していない事務用機器の電源オフ、ブラインド等の使用などの取組みを推進しました。
- ② G30に基づき、貸し館利用者にもゴミの持ち帰りの協力をお願いしています。
- ③ 個人情報が含まれていないか確認してから、使用済み紙の裏紙を有効に活用しました。
- ④ 随時、職員会議等でゴミの分別等について確認する時間を設け、職員の分別に対する意識を高めました。
- ⑤ 職員一同、節水や節電に積極的に心がけました。
- ⑥ 施設の緑化に力を入れ、ボランティアの協力も得て、花壇の維持管理を行いました。

(2) 職員配置・育成について

ア 職員体制について

- ① 事業所ごとの資格要件および職員配置基準を満たした配置をしました。
- ② 各事業の専門性を発揮して、地域ケアプラザの職員としての質の向上に、積極的に研修に参加するなど職員一同努めました。

イ 職員の研修計画について

- ① 年初に計画した年間研修計画により、更なる質の向上を目指して、職員が主体的に研修に参加できるように実施しました。
- ② 職員は、計画的に内部研修のほか、外部の各研修に職種毎に積極的に参加し、専門的な技術・技能・資格を取得できるよう努め、資格取得者も増えました。
- ③ 専門分野に限らず、総合的で多様化する相談にも対応できるように、必要に応じて専門外の研修にも積極的に研修に受講して、啓発に努めました。
- ④ 職場内でも専門職が講師となり、内部研修を行いました。
- ⑤ 研修後は研修報告書を作成し、研修の振り返りと研修内容の共有を図りました。

(3) 事業内容

ア 関係機関との連携について

- ① 今年度は障がい児・者関係の事業への取組みのため自立支援協議会に参加し関係機関（区・区社協・障がい児者関係機関、特別支援校など）と連携をより強化し、各種分科会へも参加しました。
- ② 各事業の計画や実施においては、地域のニーズに応えられるように、民生・児童委員や福祉活動推進員、老人クラブや自治会・町内会等と日頃から連携を図り、地域の実情を把握し、意見を取り入れて計画、実施しました。

イ 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供について

- ① 地域の最新のインフォーマルサービスの情報収集を行い、閲覧できる仕組みをつくり情報を提供しました。
- ② 地域活動団体から意見を抽出し、毎年度作成したボランティア団体リストを見直し最新の情報を盛り込んだリストを作成しました。
- ③ 奇数月年6回発行の広報紙「みやざき」、毎月発行のまもり隊活動（地域防犯、登下校パトロール）を支援する「まもり隊ふれあい情報通信」、偶数月年6回発行の子育て世代をターゲットにした地域情報紙「みやざきキッズカレンダー」を発行し町内回覧や掲示、当事者へ直接配布を行いました。またホームページの内容を定期的に更新しました。
- ④ 地域の各種団体の定例会や会長宅に出向き、ケアプラザの自主事業参加者や貸室利用団体へも福祉保健活動の情報収集や情報提供を行いました。

ウ 地域福祉のネットワークの構築について

- ① 今年度は担当地区民生・児童委員協議会と「学齢期の親子向けの支援」について考え、実活動に向けて相互に情報交換、共有に取組み、実施しました。
- ② 地区社協活動などの地域の福祉保健活動に企画の段階から参加し、情報交換、共有し活動の支援を継続しました。
- ③ 地域の福祉保健の問題を把握し、それに対する具体的な取組が支えあいネットワークにより行われています。その活動を支援するため関係機関(小学校・警察署・警察OB会・交通安全協会など)と地域の情報交換、共有を行いました。
- ④ ボランティア交流会を開催し、情報交換や活動紹介を行える場・機会を設けました。また貸室利用団体と地域の交流会を開催し、活動を紹介する場や活動の場を設けました。

エ プラザの各機能を活用した、地域の福祉保健に関する拠点としての機能の発揮について
<ul style="list-style-type: none"> ① 個別支援(包括事業)のニーズを集計することで、地域支援(地域活動交流事業)のニーズが見えてくると考え、地域へのインフォーマルサービスを開発するための情報の把握、統計を行いました。 ② 次世代の地域の担い手として中学生のために、プラザ内の各機能を活用してボランティア講座を開催しました。 ③ 地域内の介護保険事業所や医療機関などとも日頃から関係作りに努め、緊急な対応が必要な場合にもチームで連携が取れるような関係作りに努めました。

オ プラザ内の各部門間の情報共有の方法、連携等について
<ul style="list-style-type: none"> ① 月1回の職員会議で、各部門間の情報の共有・連携等を行いました。 ② 各事業においても、必要に応じて関係セクションに必要な情報を適宜、伝達し、問題解決に繋げました。地域の情報についても、施設内での共有に努めました。 ③ デイサービス事業では、朝・夕のミーティングを行い、介護情報等の共有に努め、きめ細やかなサービスを提供できるように努めました。 ④ プラザ内で周知したい場合には、回覧板で周知し、意見を記載しました。 ⑤ 個別の課題も各部門で共有して取り組んでいきました。

● 地域活動・交流事業

ア 地域の現状（課題）及び、これに対する施設の基本的な取り組みについて
<ul style="list-style-type: none"> ① 担い手の高齢化、不足は毎年の課題となっています。地域の現状を地域の20代～50代の世代に知っていただくために子育て支援ネットワークや年代別をターゲットとした講座を開催し、地域の福祉保健活動を啓発していきながら、問題の解消にあたりました。 ② 活動の活発な町会とそうでない町会との差があるため、福祉保健活動が停滞気味で、課題のある町会については、地域ケアプラザの機能と利用について、包括と連携して積極的に支援や声掛けなどをして、一緒に地域の福祉保健活動を推進しました。

イ 福祉保健活動団体等が活動する場の提供について
<ul style="list-style-type: none"> ① 地域福祉保健活動団体の利用を促進するため、PR広報(広報紙、チラシ、館内や地域掲示板への掲示など)活動をしました。 ② 空き室情報を利用者にわかりやすいように、随時館内掲示でお知らせしました。 ③ 福祉保健活動のニーズを定期的に情報紙にて提供しました。

ウ 運営協議会の開催時期・議題について
<p>第1回開催日： 6月25日(金) 13:30～14:30 出席者：運営委員 11名 議 題：①補充委員の確認 ③平成21年度事業報告 ④平成22年度事業計画</p> <p>第2回開催日： 11月26日(金) 13:30～14:30 出席者：運営委員 15名 議 題：予定 ①平成22年度上半期事業進捗状況報告</p>

エ ボランティア育成及びコーディネートについて
<ul style="list-style-type: none"> ① ボランティア講座 OB、自主化した団体へ活動支援を引き続き行いました。 ② 地域ケアプラザのボランティアコーディネートの啓発、利用促進を行い実活動へ繋がりました。 ③ 地域のニーズを踏まえた育成研修講座を開催しました。 ④ ボランティア活動のための情報紙を定期的に発行し、館内に掲示しました。 ⑤ サブコーディネーターをボランティアコーディネーターとして育成しました。 ⑥ 区社協、区内ケアプラザ、区高齢支援と連携しボランティア育成に努めました。

オ 貸し館の稼働率目標、及び利用促進策について
<ul style="list-style-type: none"> ① 利用率を上げるよう目標を立てて取組み、施設職員に明確にして共有しました。 ② 地域福祉保健活動団体の意見(アンケート)を盛り込み、活動しやすい貸館を目指し、貸室の整備、付帯設備の整備、活動への情報提供などを行いました。 ③ 空き室情報を利用者にわかりやすいように、随時館内掲示でお知らせしました。

カ 福祉保健活動（インフォーマルサービス）の開発・新たな地域福祉の担い手の育成のための自主事業の展開について
<ul style="list-style-type: none"> ① 今年度は自主化した団体（3団体）の支援を行いました。 ② 男性の活動の場を提供し、講座から定期的な活動へ繋げ、地域福祉の担い手を育成しました。 ③ 包括支援センターのニーズから見えてくる地域ニーズに対応できる仕組みづくりを仕掛けていきました。

キ 区行政との協働について
<ul style="list-style-type: none"> ① 区地域福祉保健第2期計画の支援メンバーとして地域を支援しました。 ② 幼児救急法を区役所と開催しました。 ③ 高齢支援ボランティアの育成に協力しました。

● 地域包括支援センター事業

ア 地域包括支援センターの役割の周知や活用に関する工夫について
<ul style="list-style-type: none"> ① 地域で行われる食事会やお茶会等に積極的に参加し、顔のみえる関係作りに努めることで、地域住民が地域包括支援センターを知り、活用しやすくなるようしました。 ② ケアプラザ内での事業に運営、参加して関わることで、地域包括支援センターの役割が何かを伝え、相談の場を積極的に提供しました。 ③ 各月発行の広報みやぎきやホームページに、地域包括支援センターの事業や情報を載せ、PR活動に努めました。

イ 介護予防の推進や地域づくりのための具体的方策について
<ul style="list-style-type: none"> ① 地域出張講座でチェックシートによる特定高齢者候補者の把握を行い、地域支援事業へとつなげていきました。また、血圧測定等を実施し健康相談を行うことで健康、介護予防への関心を高めていきました。 ② 地域作りとして、区社協での高齢者分科会などに参加し、インフォーマルサービスの開発・普及に努めました。 ③ 10月に開催された「宮崎まつり」で、地域の方々を対象に健康づくりや介護予防をテーマとした内容の企画を行いました。

ウ 介護予防ケアマネジメント事業
<ul style="list-style-type: none"> ① 要支援者が要介護状態にならないよう、区役所やその他の関係機関と連携して、日常生活における課題を早期に発見して、生活機能評価を行い、適切な支援を行いました。 ② 要介護状態になっても本人の意志や家族の意向を尊重した上で、残存機能を活かしながら在宅での生活が継続できるよう、適切な保健医療機関や福祉サービスなどの導入を支援していきました。

エ 総合相談・支援事業
<ul style="list-style-type: none"> ① 地域の開かれた窓口をめざし、地域包括支援センターの職員が土日祝日を含めて、1名以上は出勤し、地域からの様々な相談に迅速に対応していきました。 ② 独居（日中独居を含む）の方や介護認定を受けていながら、介護サービスを利用していない方、地域との関係が希薄な高齢者、民生委員や区役所職員から依頼をうけた方など、様々なケースの高齢者に助言・訪問を適宜行いました。 ③ 介護保険に関する相談をはじめ、地域での様々な福祉に関する相談に応じ、必要な機関への調整を行いました。

オ 権利擁護事業（現状・被保険者への虐待防止・早期発見等）
<ul style="list-style-type: none"> ① 虐待の疑いがある対象者には、区役所やケアマネジャー、サービス事業所等と連携し、情報の共有と客観的に全体像の把握を行い連携しながら対応しました。 ② 地域住民に虐待について理解していただけるように情報提供していき、早期発見・予防に努めました。 ③ 成年後見制度についての講座を開催し、普及啓発を行いました。

カ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業
<ul style="list-style-type: none"> ① 医療機関との連携により、退院後の地域での生活について入院中から支援しました。 ② 一人暮らしの方や、介護認定を受けていながら介護サービスを利用していない方について、区役所や民生委員等と連携して支援していきました。 ③ 近隣の医療機関との医療ソーシャルワーカーと連携し、退院前のサポートから退院後の地域生活まで支援していきました。 ④ 地域で行われている高齢者食事会やお茶会など地域に出向く機会を通じて、制度の普及活動・地域ニーズの把握を行っていきました。 ⑤ 区役所との定例カンファレンスを月に1回行い、地域の情報を共有し、それぞれの役割を担い支援していきました。 ⑥ 居宅介護支援事業所のケアマネジャーが開催するサービス担当者会議に出席し、包括的な立場で助言、支援していきました。

キ 介護予防事業（体力向上プログラム）
<ul style="list-style-type: none"> ① 高齢者が自ら「介護を必要とする状態になることを未然に防止し、できるだけ身体の機能を維持・改善すること」を目指しました。年3回（各5回コース）の「体力向上プログラム」を実施しました。内容は、基本チェックリスト・レクリエーション・介護予防体操・口腔機能の向上・栄養・フットケアで構成し、参加者からは好評でした。

ク 介護予防支援業務の取り組みに関する考え方（実施体制等）

《職員体制》

3職種（看護師1名・主任ケアマネジャー1名・社会福祉士1名）と居宅介護支援事業所と介護予防支援事業所の兼務のケアマネジャー2名の計5名で介護予防支援業務に従事しました。

《目標》

利用者に達成目標と支援レベルを明らかにし、また、客観的な必要性と本人の要望のすり合わせにより、自立や介護予防を促すように支援しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●ありません

《その他（特徴的な取組、PR等）》

公正中立な立場、細やかな対応を心がけています。区役所をはじめ、関係機関との連携体制を整えました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
121	123	122	125	124	126
10月	11月	12月	1月	2月	3月
130	127	125	125	126	121

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 通所介護サービス計画の作成
- 生活指導（相談援助）
- 個別機能訓練（日常生活動作）
- 介護サービス（食事、排泄、介助等）
- 健康状態の確認
- レクリエーション
- 送迎 給食 入浴

《実費負担（徴収した項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要介護1） 708 円
 - （要介護2） 825 円
 - （要介護3） 942 円
 - （要介護4） 1,059 円
 - （要介護5） 1,176 円
- 食費負担 700 円（おやつ代含む）
- 入浴負担 53 円
- サービス提供体制強化加算Ⅰ 13 円
- 個別機能訓練加算Ⅰ 29 円

《事業実施日数》 週7日（年末年始[12/29～1/3]を除き、年中無休）

《提供時間》 10:00 ～ 16:10

《職員体制》

- 管理者 1名（常勤兼務）
- 生活相談員 4名（常勤兼務4名）
- 看護職員 3名（常勤兼務1名、非常勤兼務2名）
- 介護職員 15名（常勤兼務4名、非常勤11名）
- 機能訓練指導員 3名（常勤兼務1名、非常勤兼務2名）
- 運転業務職員 5名（非常勤5名）

《目標に対する取組状況》

日頃、外出する機会の少ないご利用者様に健康チェック、入浴、食事、体操、レクリエーションなどを行い、一日楽しく安心、安楽に過ごしていただくと共に、その有する能力に応じ自立した日常生活ができるようサービスを提供しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ① 音楽療法の取組み：外部より講師を招き、音楽の楽しみを身近に体験していただきました。
- ② 今年度より個別機能訓練を開始しています。
- ③ 口腔機能体操の実践：うがいや毎食前に口腔機能体操を取入れました。
- ④ 食後の歯ブラシ・義歯洗いの奨励：口腔清潔の啓発を行いました。
- ⑤ 食事の充実：「給食委員会」にて毎月1回、メニューの見直しや要望、季節にあった行事食の内容検討など、更なる充実を図りました。
- ⑥ 嗜好調査：ご利用者の嗜好品や食事に対する意見を伺い、嗜好に沿って取り入れるメニューや代替品の検討につなげました。
- ⑦ お客さま満足度調査の実施：調査を行い、結果内容を職員間で検討し、より喜ばれるサービスの改善に努めました。（置の導入等）
- ⑧ レクリエーションの充実：園芸・手工芸などご自身で選択していただきます。また好評なアニマルセラピーも継続的に活動していただきました。
- ⑨ 毎月季節にあわせた薬湯週間を設け、視覚と嗅覚で楽しんでいただきました。

《利用者実績》（延べ人数）

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
598	573	548	563	559	564
10月	11月	12月	1月	2月	3月
589	535	517	530	489	551

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 介護予防通所介護サービス計画の作成 ●健康状態の確認
- 生活指導（相談援助） ●サービス計画に基づいた機能訓練
- 送迎・入浴 ●レクレーション ●給食

《実費負担（徴収した項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要支援1） 2, 327 円（月額）

（要支援2） 4, 549 円（月額）

● アクティビティー加算 56 円（月額）

または●運動器機能向上加算 236 円（月額）

●サービス提供体制強化加算I

（要支援1） 51 円（月額）

（要支援2） 101 円（月額）

● 食費負担 700 円（おやつ代含む一食につき）

《事業実施日数》 週7日（年末年始[12/29～1/3]を除き、年中無休）

《提供時間》 10:00 ～ 16:10

《職員体制》

通所介護事業の全職員が介護予防通所介護事業に兼務しています。

《目標に対する取組状況》

楽しく生き生きと過ごしていただくとともに、利用者個人の有する能力に応じ、自立支援をサポートします。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ① 音楽療法の取組み：外部より講師を招き、音楽の楽しみを身近に体験していただきました。
- ② 運動機能の充実：今年度より運動器機能向上加算を取り入れ、より個別に対応して機能向上を目指しました。
- ③ 口腔機能体操の実践：うがいや毎食前に口腔機能体操を取入れました。
- ④ 食後の歯ブラシ・義歯洗いの奨励：口腔清潔の啓発を行いました。
- ⑤ 嗜好調査：ご利用者の嗜好品や食事に対する意見を伺い、嗜好に沿って取り入れるメニューや代替品の検討につなげました。
- ⑥ 食事の充実：「給食委員会」で毎月1回、メニューの見直しや要望、季節にあった行事食の内容検討など、更なる充実を図りました。
- ⑦ お客さま満足度調査の実施：調査を行い、結果内容を職員間で検討し、より喜ばれるサービスの改善に努めました。（畳の導入等）
- ⑧ レクリエーションの充実：園芸・手工芸などご自身で選択していただきました。また好評だったアニマルセラピーボランティアにも継続的に活動していただきました。
- ⑨ 毎月季節にあわせた薬湯週間を設、視覚や臭覚で楽しんでいただきました。

⑩

《利用者実績（契約者数）》

4月	5月	6月	7月	8月	9月
18	17	18	17	18	20
10月	11月	12月	1月	2月	3月
24	23	22	21	22	21

【単位：人】

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者… 1 名(常勤兼務)
- ・ 介護支援専門員… 3 名(常勤専従 1 名、常勤兼務 1 名、非常勤兼務 1 名)

《目標》

- ・ 在宅生活を継続するために、必要なサービスを適切に利用できるように、利用者や家族の依頼を受けて、居宅サービス計画を作成しました。
- ・ 適切なサービスが提供されるよう、サービス担当者会議を開催し、担当者から専門的な意見を求め、調整しました。
- ・ サービス提供開始後は、毎月 1 回以上訪問することで、状況を把握（モニタリング）し、心身や環境に変化に応じた適切なサービスが提供されるように、居宅サービス計画を適宜見直しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- ありません

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 各種講習会・研修会に積極的に参加し、ケアマネジャーの資質向上に努めました。
- ・ ケアプラン作成後も利用者様・家族様と連絡を取り、相談しながら必要なサービスを提供できるように支援しました。
- ・ 地域ケアプラザの居宅介護支援事業所として、地域包括支援センターと連携し、積極的に支援が困難なケースの受入れを行い、必要に応じてすぐサービスを導入し、専門性の高い対応を心がけました。

《利用者実績》

【単位：人】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
4 1	4 5	4 6	4 3	4 3	4 4
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
4 2	4 2	4 4	4 7	4 8	4 8

<以上>

平成22年度 地域ケアプラザ決算報告書

施設名:宮崎地域ケアプラザ

平成22年4月1日～平成23年3月31日
(単位:千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援			
収入	指定管理料収入	19,169	24,235	535				
	介護保険収入				4,072	6,781	67,821	9,828
	その他							
	委託料(地域包括支援センター相談体制強化事業)							
	委託料(認定調査)					627		
	職員給食費等	63	326			112	547	
	収入合計(A)	19,232	24,561	535	4,072	7,520	68,368	9,828
支出	人件費	12,180	19,437			12,880	47,344	
	事務費	2,294	1,970	231		297	10,804	
	事業費	516	962					
	管理費	5,837	1,551				12,305	
	その他							
	消費税	609						
	他居介支介護予防委託				1914			
他会計繰入金						2,739		
	支出合計(B)	21,436	23,920	231	1,914	13,177	73,192	
	収支(A)-(B)	-2204	641	304	2158	-5657	-4824	9828

介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

上記以外の事業(認知症対応型通所介護等他の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

平成22年度 自主事業収支報告書

横浜市宮崎地域ケアプラザ

交流

事業名	主な対象者 延べ参加人数 一人当たり参加費	自主事業決算額					
		総経費	収入		支出		
			委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
高齢者 しあわせサロン宮崎 毎月第2水曜日	70歳以上の一人暮らし・日中独居 75歳以上の高齢者世帯 453名 500円他実費	353,548	44,848	308,700	5,555	339,593	8,400
親子わくわくプラザ 毎月第1月曜日	1歳～未就園親子 341名 原則なし	42,273	26,373	15,900	17,221	19,452	5,600
子育て みやぎキッズ おはなし会	未就学親子 24名 なし	25,642	25,642	0	0	19,482	6,160
子育て みやぎキッズ フリースペース	未就学親子 24名 なし	5,600	5,600	0	0	0	5,600
子育て 天使のほっぺ 毎月第1金曜日	0歳児親子・プレママ 122名 原則なし	20,238	20,238	0	0	14,638	5,600
子育て パパあのおね！ 毎月土曜日	1歳～未就園父子 134名 原則なし	12,985	12,985	0	0	6,825	6,160
地域支援事業 ワンコイン音楽サロン 毎月原則第3土曜日	地域住民誰でも 363名 500円	161,063	3,563	157,500	129,987	31,076	0
地域 フラダンス講座 ゆっくり 全6回×3クール	地域住民誰でも 190名 全6回 4500円	82,792	42,042	40,750	79,992	0	2,800
地域 フラダンス講座 もっと×2 全6回 以降自主化	地域住民すべて 35名 全6回 7000円	59,488	31,488	28,000	53,328	0	6,160
地域 ウクレレ講座 全8回×1クール 以降自主化	地域住民すべて 46名 全8回 9000円	80,000	8,000	72,000	80,000	0	0
高齢者 ケータイ安全教室 単発 1回 4/19	地域住民誰でも 13名 なし	0	0	0	0	0	0
子育て 親子パン作り教室 単発 2回 5/1	2歳～未就学児親子 23名 500円	6,279	1,779	4,500	0	5,719	560
子ども 子どもパン作り教室 単発 1回 5/5	小学生以上 8名 500円	6,083	2,083	4,000	0	5,523	560

平成22年度 自主事業収支報告書

横浜市宮崎地域ケアプラザ

交流

事業名	主な対象者	自主事業決算額					
	延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
地域 男性のための料理教室 6/2～6/30 全4回	男性 36名 500円	16,004	2,004	14,000	0	13,764	2,240
地域 男性のための料理教室継続 毎月1回	男性 71名 500円	22,230	6,230	16,000	0	22,230	0
子ども 中学生のボランティア講座 7/26～8/7Vor活動	区内在住中学生 3名 なし	1,680	1,680	0	0	0	1,680
地域 歌舞伎鑑賞と昼食のお誘い 単発1回 7/28	地域住民 28名 3,800円	123,279	879	122,400	0	122,719	560
子ども ケーキフラダンス講座 全3回 8/5・12・19	小学生以上 45名 全3回 1,500円	34,684	16,684	18,000	26,664	6,340	1,680
子ども 子どもアートクラブ 単発1回 8/10	小学生以上 6名 1,000円	24,462	22,962	1,500	22,222	1,680	560
地域支援事業 楽しみながら韓国語講座 第2・4木曜日全12回	地域住民誰でも 186名 6,000円	100,290	290	100,000	72,216	28,074	0
子ども バスハイク 単発1回	未就園児親子 6名 3,500円	122,475	50,025	72,450	0	122,475	0
障がい児・者 障がい児余暇支援 単発1回 8/5	小学生 29名 300円	8,899	6,499	2,400	0	8,339	560
地域 花を楽しむ講座 単発 毎月第3火曜日	地域住民誰でも 77名 6,000円	35,000	8,000	27,000	35,000	0	0
地域 花を楽しむ講座継続 単発1回 3/15	地域住民誰でも 9名 なし	5,000	5,000	0	5,000	0	0
地域 宮崎まつり 単発1回 10/16	地域住民誰でも 550名 なし	156,879	93,379	63,500	26,111	74,131	56,637
地域 大人の社会科見学 単発1回 11/25	地域住民誰でも 37名 5,000円	215,157	27,957	187,200	0	215,157	0
地域 サプリメント講座 単発1回 11/20	地域住民誰でも 12名 なし	0	0	0	0	0	0

平成22年度 自主事業収支報告書

横浜市宮崎地域ケアプラザ

交流

事業名	主な対象者	自主事業決算額					
	延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
異世代 ふれあい交流会 単発1回 未定	65歳以上の一人暮らし・日中独居	14,174	14,174	0	0	14,174	0
	75歳以上の高齢者世帯						
	44名						
	なし						
西区サブコーディネーター研修会 単発1回 2/25	サブコーディネーター他	0	0	0	0	0	0
	なし						
地域と貸室利用団体交流会 単発1回 未定	貸館利用者	7,765	7,765	0	0	7,765	0
	なし						
ボランティア交流会 単発1回 未定	当CPボランティア	15,686	15,686	0	0	15,686	0
	なし						
4CP合同事業 単発2回 8/22・1/30	西区住民	1,125	1,125	0	0	1,125	0
	500円						
		1,760,780	504,980	1,255,800	553,296	1,095,967	111,517

事業ごとに別紙に記載してください。

平成22年度 自主事業収支報告書

横浜市宮崎地域ケアプラザ

包括

事業名	主な対象者	自主事業決算額					
	延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
介護者のつどい	介護者ご本人、 介護に関心のある方	99,130	99130		50,415	10484	38,231
	原則なし・内容により材料実費徴収						
体操教室 いきいき宮崎	一般	46,666	1866	44,800	46,666		
	20人						
	月200/人						
体操教室 ゆうゆう宮崎	一般	51,110	15110	36,000	51,110		
	20人						
	月200/人						
お葬式講座	地域住民すべて	3,000	3000			3000(資料代)	
	30人						
	なし						
フラダンス(ゆっくりコース) 6回×4クール	地域住民すべて	83,352	42602	40,750	79,992		3360
	15人						
	1クール3,000円						
ケアマネサロン(学習交流会) 成年後見制度について	西区ケアマネジャー	5,000	5000		5000		
	15人						
	なし						
健康作り体操講座「ウォーキング」 全1回	地域住民すべて	10,700			10,000		700
	25人						
	なし						
高次脳機能障害講座	地域住民すべて	16,000	16000		16,000		
	30人						
	なし						
みやざきウォーキングの会	地域住民すべて	4,800					4,800
	10人						
	なし						
あなたらしい老い支度講座 (4包括合同)	地域住民すべて	702				702	
	40人						
	なし						
宮崎まつり	地域住民全て	7,117				7117	
	なし						

平成22年度自主事業報告書

横浜市宮崎地域ケアプラザ

・定期事業

NO.1 交流

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
高齢者支援事業 ミニデイ 「いきいきサロン宮崎」	目的：家庭に閉じこもりがちな高齢者に外出の機会をもち、仲間同志の交流を図る。また、高齢者同士の見守り、CPとのかかわりも方も随時伝えていく場。介護予防啓発 内容：高齢者会食会と介護予防レクリエーション	毎月第2水曜日 11:00～14:00 12回開催
子育て支援事業 わくわく親子プラザ	目的：未就園の乳幼児の親子を対象。子育てしていく中でのお母さん同士のコミュニケーションや子育ての支援。 内容：体操、手遊び、おはなし会などの親子ひろば	毎月第1月曜日 10:30～12:00 12回開催
子育て支援事業 みやざキッズ	目的：未就学の乳幼児の親子を対象にしたフリースペース。公園などの遊び場の減少・遊び場の安全などの地域の課題を踏まえての開催。地域ニーズからの事業。 内容：フリースペース	毎月 第1月曜日 13:00～17:00 12回開催
子育て支援事業 みやざキッズ おはなし会	目的：未就学の乳幼児の親子を対象にしたフリースペース。公園などの遊び場の減少・遊び場の安全などの地域の課題を踏まえての開催。地域ニーズからの事業。 内容：お楽しみタイムを設け地域交流職員とのコミュニケーションを図る。	毎月 第3月曜日 10:00～12:30 11回開催
子育て支援事業 天使のほっぺ	目的：プレママ、0歳児親子を対象。お母さん同士やプレママのコミュニケーションの場。子育ての相談・支援。 内容：0歳児ママたちの交流の場、赤ちゃん体操他	毎月 第3水曜日 10:30～12:00 12回開催
心と体を癒すフラダンス講座 ゆっくりコース	目的：西区地域保健計画の基本目標2「活気にあふれ、健康なまち」を目指し開催します。健康な体をつくる 健康な心をつくる 健康への意識づけ 地域住民の交流の場 様々な世代の交流の場 内容：フラダンス	原則毎月第2・4月曜日 10:30～12:00 18回開催 6回×3クール
心と体を癒すフラダンス講座 もっと×2コース	目的：西区地域保健計画の基本目標2「活気にあふれ、健康なまち」を目指し開催します。健康な体をつくる 健康な心をつくる 健康への意識づけ 地域住民の交流の場 様々な世代の交流の場 フラダンスをツールとした自主的な活動 内容：フラダンス	原則毎月第2・4土曜日 12:30～14:00 全6回
地域支援事業 ワンコイン音楽サロン	目的：「歌う」「新しい歌を覚える」ことで体と心の健康を作り支援します。地域住民・異世代交流の場 内容：毎月の歌と継続して歌い覚える歌の指導	毎月第3土曜日 13:30～15:30 12回開催

平成22年度自主事業報告書

横浜市宮崎地域ケアプラザ

・定期事業

NO.1 交流

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
心と体を癒す 初心者のためのウクレレ講座	目的：西区地域保健計画の基本目標2「活気にあふれ、健康なまち」を目指し開催します。健康な体をつくる 健康な心をつくる 健康への意識づけ 地域住民の交流の場 様々な世代の交流の場 ウクレレをツールとした自主的な活動 内容：ウクレレを学ぶ	原則毎月第2・4 木曜日 19:00～20:30 全8回開催

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域支援事業 まもり隊事務局	目的：平成16年度地域支えあい連絡会にて地域の声があがり、平成17年度4月より活動を開始した、子どもの見守り・町内の防犯を目的とした下校、防犯パトロール隊。「地域の子どもは地域で守る。」が合言葉。 活動内容：行政が主動で活動している組織が多い中、連合町内会・地域住民が主動で活動している。地域支えあい連絡会は発展的解散はしたが、活動は現在も続いている。CPの役割は事務局。各町内会の活動把握や行政（警察・消防署・区）との連絡調整、また小学校行事に伴う下校時間、休校など小学校と連携し情報紙の発行や子どもや教職員との親睦会など3小学校との調整など。	4月16日に全体 会開催 見守り・防犯活動 は町内会単位でほ ぼ毎日活動 連絡調整随時 情報紙、3小学校 分毎月発行。

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おはなし会 にこにこひろば おはなし会ボラン ティアグループ 「ぼっ・ぼっ・ ぼっ」と共催事業	目的：ぼっぼっぼっの活動目的「絵本の読み聞かせを主軸に子育て支援として乳幼児(0歳～3歳児)向けのおはなし会を開催し、乳幼児の時期の絵本の大切さや役割を伝え、親子のコミュニケーションを図ることを目的とする」を支援する 内容：0歳～3歳児向けおはなし会	毎月第2火曜日 10:30～12:00 10回開催

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
パパあのおね!!	目的：お父さん同士の交流。地域の担い手として啓発。 内容：お父さんならではのダイナミックな体を動かす遊びを中心に、子どもとの関係性や遊びの意味を学びながらコミュニケーションを図る。	毎月 土曜日1回 10:30～12:00 12回開催

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
楽しみながら韓国語講座	目的：異文化交流・異世代交流・地域交流 内容：楽しみながら異文化を学び、あいさつなど日常の簡単な会話を学び習得する	毎月第2・4 木曜日 10:00～11:30 12回開催

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
花を楽しむ講座	目的：異世代の交流の場、地域交流、引きこもり防止 内容：プリザード・アレンジなどお花を通じた活動	毎月 火曜日1回 13:30～15:30 6回開催

横浜市宮崎地域ケアプラザ

・単発事業（共催事業含む）

NO. 2 交流

	事業名	目的・内容等	実施時期・回数
4月	シニア向けケータイ安全教室	目的：携帯を取巻く犯罪啓発・防止。便利な携帯の機能を学び身につける。 内容：年々増加する振り込め詐欺などの犯罪などに巻き込まれないための対策、自然災害に遭遇した際に身を守るサービスのご紹介や、携帯電話の紛失など日常に起こり得るトラブルの対応など	19日（月） 13：30～15：30 1回
5月	親子パンづくり教室	目的： 未就園親子に地域ケアプラザを知っていただく。 お母さん同士、お母さんと子どものコミュニケーション・子育ての支援。 食育 内容：パンを親子で作り、みんなで食べる。	1日（土） 10：00～11：30 11：30～13：00 2回
	子どもパンづくり教室	目的： 小学生に地域ケアプラザを知っていただく。 異学年・異小学校の交流 パンづくり、食べることの大切さを知る 内容：パンを作り、みんなで食べる。	5日（水） 10：30～12：00 1回
6月	男性のためのボランティア講座	目的： 男性の集まる場を作る 男性の方に、基本的な栄養や調理を身につけて生きる力をつけていただく。 内容：包丁の使い方など調理の基本を調理を通して学ぶ。	2日（水） ～30日（水） 9日は除く 10：00～13：00 全4回
7月	中学生のボランティア講座	目的：中学生のボランティアスタートのきっかけづくり、また地域の新しい担い手としての発掘の場。開催内容：1～2回目は高齢者・障がい者・子育て支援/CPの役割を学ぶ。3回目は各関係機関に協力頂きボランティア体験。 内容：ボランティア活動のみを行った。	26日（月）～ 8/7日（土）の うち1日ボランティア活動
	地域コミュニケーション講座 「歌舞伎鑑賞と昼食のお誘い」	目的：「歌舞伎」をツールに地域住民を集め地域ケアプラザを知って頂き交流を深める。 内容： 地域ケアプラザを知る 地域住民同士の交流 歌舞伎鑑賞	7/27（火） 12：00～17：00 1回
8月	ケーキフラダンス講座	目的：小学生にCPの啓発を行う。フラダンスを通してデイサービス高齢者との交流をもつ。異学年、異小学校児童の交流。 内容： フラダンスを学ぶ 参加者同士の交流 デイサービスへの訪問・交流	5日（金） 12日（金） 10：30～12：00 19日（金） 13：00～15：00 全3回
	障害児余暇支援事業 西区夏休み余暇企画「2010年夏を満喫しよう!!」	目的：西区内の同世代の障がいを持つ子どもたちの交流の場。ボランティアとの交流。障がい者の啓発。 内容：小学生対象の余暇支援、プールを中心とした活動。パンづくり他	5（金） 13：00～16：00 1回
	こどもアーティスト講座「ちずをつくらう!!」	目的：小学生にCPの啓発を行う。マップづくりを通して自分の住む地域を知る。異学年、異小学校児童の交流。 内容： 地域のマップづくり 参加者同士の交流 地域のマップづくりを通して感じたことの発表	10（火） 13：00～17：00 1回
	4CP合同事業 「異文化交流」	目的：4ケアプラザサブコーディネーターが福祉保健計画を元に事業の企画・運営を行う 内容：戸部本町地域ケアプラザ会場とし「中国」の歴史、料理などの文化に触れ合う。 中国文化を通して地域住民の交流。	22日（日） 11：00～13：00 1回 1月にも開催予定

横浜市宮崎地域ケアプラザ

・単発事業（共催事業含む）

NO. 2 交流

	事業名	目的・内容等	実施時期・回数
9月	子どもバスハイク	目的：未就園の乳幼児の親子を対象。子育てしていく中でのお母さん同士のコミュニケーションや子育ての支援。職員とのコミュニケーションの場。 内容：バスハイク	6日(月) 9:30～16:00 1回
	西区4CP合同男性のための料理教室交流会	目的：西区内の男性の料理教室の充実と男性の居場所づくり支援。企画・運営・事業のコーディネート 内容：担当ケアプラザ料理教室の料理による会食会を行なう。活動の情報交換。西区福祉保健センター職員も参加される	13(月) 11:00～13:00 と2月8日 2回
10月	第11回宮崎まつり	目的：地域住民とCPの交流の場。地区社協と共催することで地域住民との繋がりを深めていく。CP啓発。 内容：福祉保健活動をなされてる地域住民や障害者施設、団体による模擬店。貸室団体による催し物など	16日(土) 11:00～14:00 1回
11月	大人の社会科見学	目的：バスハイクを通して地域交流、職員との交流、ひきこもり防止 内容：関東周辺のバスハイク	24日(水) 9:00～16:30
	サプリメント講座	目的：サプリメントの飲み方、効能、副作用をなど正しい知識を学ぶ。サプリメント依存啓発。 内容：ファンケルの薬剤師による講義	20日(土) 10:00～12:00
2月	異世代交流サロン	目的：異世代交流による住みよい地域づくり 幼稚園児と高齢者が交流することで、地域に戻ってからの関係作りも期待する。高齢者自身も地域の幼稚園児を意識した生活を送ることで、声掛けや見守りの活動を進んでしてくれます。また、幼稚園側も地域に興味を持ち地域のことを知ろうと様々な活動に協力してくれる。 内容：高齢者と幼稚園児の交流 レクレーション 会食会	1日(火) 12:00～13:30
	サブコーディネーター研修会	目的：西区内のサブコーディネーターのスキルアップ。研修の企画・運営・コーディネート 内容：コーディネーターハンドブックから地域活動交流事業を学ぶ	25日(金) 10:00～16:00
	ボランティア交流会	目的：当ケアプラザにてボランティア活動をしている方・団体と地域の協力団体との交流の場。CPは日頃の活動中のご意見などを集約する場。様々な方・団体のボランティア活動を知り、情報交換し連携することで、地域の中での福祉保健活動をしやすい環境を作る 内容：情報提供 情報交換 職員とボランティアの交流	17日(木) 12:30～14:30
3月	地域と貸室利用団体交流会	目的：貸室利用団体の地域への福祉・保健活動への支援。と共に地域や当CPでのボランティア活動への啓発や貸館利用者同士の情報交換の場。地域との交流の場。 内容：貸室利用団体への福祉保健活動啓発・意識づけ 貸室利用団体のネットワークづくり 地域住民へのボランティアコーディネートの周知 地域住民と貸室団体の交流	6日(日) 13:00～16:00

平成22年度 自主事業報告書

横浜市宮崎地域ケアプラザ

包括

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者のつどい	目的：介護者の情報交換や憩い・リフレッシュの場 内容：茶話会や介護に関する勉強会、施設見学。また、レクレーションとして、外出や物作り 年2回「あけぼの会（西区・介護者のつどい）」との交流会を含みます。	原則：4月を除く毎月1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
体操教室 ・いきいき宮崎 ・ゆうゆう宮崎	目的：高齢者の体力低下予防、健康作り 内容：西区シルバー体操指導員の協力のもと、体操を行う。	いきいき宮崎： 第1・第3火曜日 （年間22回実施） ゆうゆう宮崎： 第2・第4月曜日 （年間23回実施）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張健康講座	目的：地域包括支援センター周知や保健・福祉に関する情報を提供する場 内容：地域で行われる「ふれあい会」や「体操教室」等の場に出向き、介護予防や健康増進のミニ講座を開催	適宜： 月2回程度参加

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
フラダンス講座 ゆっくりコース	目的：西区地域保健計画の基本目標2「活気にあふれ、健康なまち」を目指し開催します 内容：フラダンス	原則： 毎月第2・4月曜日 10:30～12:00 22回実施

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ウォーキングの会	目的：体力低下予防、健康作り 内容：ウォーキング	年間6回実施

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
権利擁護事業	目的：成年後見制度の普及啓発 内容：孤独死、成年後見についての講演	10月～12月 （各月1回実施）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
高次脳機能障害講座	目的：高次脳機能障害についての理解と対応 内容：講座	9月14日実施

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
携帯電話講座	目的：携帯電話の操作方法と消費者被害について啓発 内容：講座	4月19日実施

事業名	目的・内容等	実施時期・回数

平成22年度 自主事業報告書

横浜市宮崎地域ケアプラザ

包括

お葬式講座	目的：葬儀のあり方について知る。また、消費者被害について啓発する。 内容：講座	11月7日実施
-------	--	---------

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防講座	目的：介護予防 内容：基本チェックリスト、介護予防体操、口腔、栄養、フットケア	5月、8月、11月にそれぞれ5回コース実施

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
第4地区民生児童委員学習交流会	目的：地域との関係作り 内容：講演会	6月22日、9月24日実施

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
宮崎まつり	目的：福祉保健活動 内容：頭と身体を使う的あてゲーム	10月16日実施

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健康作り体操	目的：体力低下予防、健康作り 内容：体育協会講師による体操指導	6月5日実施